



▶ 桂 浜

“月の名所は桂浜…”とよさこい節にも歌われ、高知を代表する名所の一つとして知られる桂浜。龍頭岬と龍王岬の間の砂浜が弓状に広がり、緑深い松林と五色の小石、紺碧の太平洋が調和して箱庭のような風情があります。

裏山の浦戸城跡は、戦国の昔、長宗我部元親の居城として四国統一の中心となったところです。

また、山頂には国民宿舎桂浜荘や坂本龍馬記念館などもあり、高知市のメジャーな観光スポットとして、多くの観光客でにぎわいます。

▶ 坂本龍馬銅像

全国的に有名な坂本龍馬銅像は、桂浜の龍頭岬にあります。この銅像は、薩長連合に尽力し、新政府の基本政策ともなる船中八策を草した龍馬を慕う多数の青年たちが、1928(昭和3)年、全県下を募金行脚し建立したものです。

土佐海援隊を率い、遠い外国に思いをはせていた維新の英雄・坂本龍馬は、今も変わらずここ桂浜ではるか太平洋を見据えています。



▶ 桂浜水族館

DATA 高知市浦戸 778 ☎ 088-841-2437

景勝・桂浜の浜辺に建つ80年以上の歴史ある水族館です。高知県を代表する巨大魚“アカメ”をはじめ、土佐湾に生息する海水魚やペンギン、アザラシ、カワウソなどを飼育。アシカやイルカのショーはもちろん、ふれあいイベントがいっぱいです。

▶ 鏡 川

その昔、龍馬も泳いだといわれる鏡川——流れる水の美しさに、土佐藩の5代藩主山内豊房が「我が影を映すこと鏡の如し」と、その清流をたたえて名付けたことでも有名です。

高知市のシンボル鏡川は、源流域から河口までの流域全体が一つの市内に含まれている全国的にも珍しい河川です。現在でもアユの遡上が見られることや、最下流部では高知県と宮崎県にしか生息していないとされているアカメの生息が確認されるなど、豊かな生態系を有しています。

また、都市部を流れる川でありながら飲料水として取水できるほどきれいな水質を保ち、2008(平成20)年には環境省から「平成の名水百選」に選定されています。



鏡川(下流域)



山姥の滝

櫛の滝

平家の滝

▶ 源流域



工石山

鏡川上流域には「県民の森」として親しまれている工石山があります。登山口から1時間半ほどで手軽に登ることができ、アケボノツツジが可憐に咲く春、シャクナゲが花開く初夏、森が色づく秋など、季節それぞれに多くのハイカーが訪れます。

土佐山にある「オーベルジュ土佐山」は、県産の杉や土佐漆喰、土佐和紙などをふんだんに使った落ち着いたきのある公共の宿で、忙しい日常から離れて“ほっ”とくつろぐのに最適の場所。地元では梅まつりやホテル祭りなども行われ、催しの期間中はたくさんの人でにぎわいます。



オーベルジュ土佐山

ぶらり 高知 散歩

森・里・海——。
今なお残るたくさんさんの自然の中で
身近に四季を感じることができ
南国のまぶしい日差しを浴びて
気の向くまま
高知のまちを散策してみませんか。

▶▶ 高知城かいわい



▶▶ 高知城

高知城は、関ヶ原の合戦の後、山内一豊が土佐の領主として1601(慶長6)年に入国し、大高坂山にその居城として築城されました。1727(享保12)年の大火でほとんど焼失しましたが、1753(宝暦3)年に創建当時の姿のまま再建されました。全国でも数少ない古城の一つで国の重要文化財に指定されています。

まちの中央に位置し、白亜の天守閣からは眼下に広がる高知市街と四方の眺望を楽しむことができます。城内には重要文化財として指定されている天守や懐徳館(本丸御殿)、追手門などのほか、板垣退助の銅像、山内一豊公夫人・千代の像などがあり、また周辺の高知公園には県立文学館や県立図書館、山内一豊公の銅像も建立されています。

▶▶ 日曜市・ひろめ市場・はりまや橋



ひろめ市場

毎週日曜日になると、高知城下の東方面には全国的にも有名な「日曜市」が開催されています。また、帯屋町アーケード西入り口には「ひろめ市場」があり、食事や買い物を楽しむ人々にぎわいます。

高知駅から電車通りを南へ行くと、よさこい節で歌われる「はりまや橋」があります。今から160年ほど前、五台山竹林寺の僧・純信と、恋人のお馬の恋の情熱は、二人を讃岐の国へ駆け落ちさせました。“土佐の高知のはりまや橋で、坊さんかんざし買うを見た…”時は移り、街のたたずまい、人の姿は変わりましたが、この橋をめぐる恋

の物語は今も語り継がれています。

はりまや橋は、1998(平成10)年に純信お馬のモニュメントやからくり時計のほか、川のせせらぎを再現するなど、はりまや橋公園として再整備され、2012(平成24)年には公園東側にベギー葉山さんのヒット曲「南国土佐を後にして」の歌碑や親子鯨なども建てられました。



はりまや橋



▶▶ 高知市文化プラザ かるぽーと

DATA 高知市九反田 2-1 ☎ 088-883-5011



市民の文化創造と生涯学習の拠点として、高知市の文化を創造・発信する複合文化施設です。

大・小のホールや市民ギャラリー、中央公民館、『フクちゃん』で知られる横山隆一さんの多彩な作品の展示や入場無料のまんがライブラリーも備え

る「横山隆一記念まんが館」などがあり、広く市民に親しまれています。



▶▶ 高知県立牧野植物園

DATA 高知市五台山 4200-6 ☎ 088-882-2601

高知が生んだ「日本の植物分類学の父」牧野富太郎博士の業績を顕彰するため、1958(昭和33)年4月に高知市の五台山に開園しました。

起伏を活かした約6ヘクタールの園地では、博士ゆかりの野生植物など約3,000種類が四季を彩り、自然の中で植物に出会う喜びを感じることができます。

1999(平成11)年には植物に関する教育普及と研究の拠点となる「牧野富太郎記念館」を新設。また、2008(平成20)年、東アジアの伝統園芸植物を観賞できる「50周年記念庭園」や、2010(平成22)年に温室もリニューアルし、植物園の役割である保存・研究・教育普及・憩いの場の全てを備えた総合植物園として歩み続けています。



▶▶ わんぱーくこうち

DATA 高知市棧橋通 6-9-1 ☎ 088-834-1890

ライオンをはじめ約90種類の動物がいるアニマルランド、観覧車や遊具で遊べるプレイランド、アスレチックを設置した水辺散策広場など、園内は池を囲むように7つのゾーンに分かれています。冒険心をかきたてられる自然いっぱいの施設で、子どもたちがのびのび遊べる公園です。



▶▶ 路面電車の走るまち

DATA とさでん交通株式会社 高知市棧橋通 4-12-7 ☎ 088-833-7121

1904(明治37)年5月2日、全国で10番目、四国では最初の市街電車として高知のまちに電車が走り出しました。以来、明治・大正・昭和・平成と、時代を経ても変わらず身近な公共交通として市民に親しまれ、平成26年には開通110周年を迎えました。

全国的に路面電車が次々と姿を消し、路面電車の走る風景が珍しいものとなりつつある中で、高知では今なお日常の風景に電車が自然と溶け込んでいます。

